

ウェイトリフティング選手
全国の舞台で大活躍！

4月29日(金)から5月1日(日)まで愛媛県で行われた、第82回全日本ウェイトリフティング選手権大会・第36回全日本女子ウェイトリフティング選手権大会ならびに、5月13日(金)から15日(日)まで大阪府で行われた、第68回全日本学生ウェイトリフティング個人選手権大会に次の方々が出場され、健闘されました。(市民スポーツ課)

全日本・全日本女子ウェイトリフティング選手権大会 (敬称略)

氏名(所属)	階級	結果
大塚 和 (新旭電子工業株式会社)	男子 67kg級	第8位
岸田 園加 (安曇川高校出身)	女子 76kg級	第4位
中村 夏樹 (新旭電子工業株式会社)	男子 +109kg級	第8位



岸田 園加さん



大塚 和さん



中村 夏樹さん

全日本学生ウェイトリフティング個人選手権大会 (敬称略)

氏名(所属)	階級	結果
深見 健 (安曇川高校出身)	男子 55kg級	第3位
岸田 園加 (安曇川高校出身)	女子 76kg級	準優勝

鍛錬してきた成果を発揮
空手道の県大会で大活躍！

5月5日(木)に第22回滋賀県少年少女空手道選手権大会が滋賀県立体育館で行われ、次の方々が優秀な成績を収められました。(市民スポーツ課)

(敬称略)

氏名(所属)	種目	結果
岸田 蒼湖 (今津東小学校)	1年生女子 形の部	準優勝
	1年生女子 組手の部	
小多 倅々葉 (新旭南小学校)	3年生女子 形の部	第4位
足立 颯汰 (安曇小学校)	3年生男子 形の部	準優勝
	3年生男子 組手の部	優勝
足立 愛華 (安曇小学校)	5年生女子 組手の部	第3位
足立 知駿 (安曇小学校)	6年生男子 形の部	第3位



後列左から
足立 颯汰さん、足立 愛華さん、足立 知駿さん
前列左から岸田 蒼湖さん、小多 倅々葉さん

小学校の教育活動を応援！
バスケットボールをご恵贈いただきました

4月下旬に滋賀レイクスターズから「レイクス・バスケットボール寄贈プロジェクト」の一環として、第一生命保険株式会社滋賀支社の協賛を受け、小学生用のバスケットボール13球をご恵贈いただきました。

ご恵贈いただいたバスケットボールは、市内の小中学校に配付し、教育活動の充実のために活用します。(学事施設課)



「もりもり高島っ子の日」
子どもたちの心とからだの
成長を応援します



教育委員会広報 問 学校給食課 ☎ (32) 1716

「もりもり高島っ子の日」では、月ごとの目標や日ごとのテーマに沿って献立を工夫し、給食だよりや学校放送を利用して健康的に過ごすための栄養の取り方や食べ方を啓発しています。



給食の時間(マキノ東小学校)

手を合わせて
いただきますー！

6月の食育目標

「食べ物と丈夫な歯について知ろう」「かみかみ給食」
ごぼうサラダや紫いもチップスなどを献立に入れ、よく噛むことが歯の病気予防につながることを啓発しました。

7月の食育目標

「夏の食生活について知ろう」「暑さに負けない給食」
酢の物や香辛料を使用した夏バテを防ぐメニューを予定しています。

また、年間を通して新鮮で安心な地場産食材を優先的に使い、素材を生かした調理法や季節感に配慮しながら手作りの味を大切にしています。
子どもたちが給食を通して、健康的に過ごすための食生活を知れるよう、食育の取り組みと安全安心な学校給食の提供に努めます。

未来の健康管理

私の1日は新聞記事やネットニュースの内容を確認することから始まります。

市内の出来事や市政に関する情報などのように報じられているか、また、他自治体の取り組みや県政、国政、国際情勢に関する記事にも目を通し、それらが本市の市民生活にどんな影響を及ぼすのかを私なりに予測して、政策判断が必要となった場合に日頃から備えておくためです。
各紙の社説や、時には広告などからも多くの気づきを得ていますが、最近特に注目しているのが、健康データを活用した新しい産業に関する情報です。

私も普段から歩数などの運動量や、心拍数から推計されるストレスや睡眠の状態に関するデータ等をスマートウォッチで確認していますが、このような自分の身体の状態を客観的に知る事は、健康に対する意識を高め、次の日の過ごし方や食生活にも大きな影響を与えてくれます。

国内では官民の連携によって、個人の健康や医療に関するさまざまなデータを活用した新産業の育成が本格化しており、スマートフォンアプリなどで収集されたビッグデータの分析によって、一人一人に適した健康づくりや治療法が提案されるという研究も進められています。

データの管理方法や個人情報保護等については課題も多く、共通のルール作りや法整備が必要になりますが、こうした健康増進に対する新たな取り組みが医療費の抑制や介護の予防に役立てられ、ひいては人生100年時代と言われる日本社会全体の活性化に繋がるものも期待しています。

市でも、こうした未来の健康管理について常に最新の情報を収集し、市民の皆さん一人一人が、いつまでもいきいきと暮らしていける環境づくりに努めていきます。

福井 正明

市長雑記

